＜先週の説教から＞

『黙示録６７― この言葉を守る者 』

創世記　３：１～５　ヨハネの黙示録２２：６～９

黙示録の最後の章に入りました。１章９節からずっと続いてきた、神様から与えられたヨハネの幻と預言の言葉は前回の22章５節までで終わりました。この６節からは最後のまとめの言葉とあいさつへと入っていきますが、その書き出しは、実はこれまでの預言が神様によって与えられたことを再確認している言葉となっているのです。即ち「そして、天使はわたしにこう言った。『これらの言葉は、信頼でき、また真実である。預言者たちの霊感の神、主が、その天使を送って、すぐにでも起こるはずのことを、御自分の僕たちに示されたのである。』」です。この「これらの言葉」とは直接的には今までのヨハネが伝えて来た言葉のことを指しますが、同時にこの黙示録 22 章が聖書全体の最後の章であることを考慮すると、聖書の最後に、これら聖書のすべての言葉とも読めるのではないかと幾人かの解説者が述べています。成程です。ここで「預言者たちの霊感の神」とあることは、すでにこれまで神様は預言者たちに聖霊を与えて、み言葉を語らせて来たということが前提となっています。それが旧約聖書に登場するモーセ、サムエルやエリヤやエリシャでしょうし、そうしてイザヤ書やエレミヤ書などの預言書も記されて来ました。その神様の霊感がヨハネにも与えられたということです。それ故「信頼でき、真実だ」と。ヨハネだけがこの霊感を与えられたのではないことは「主が天使を送って（中略）すぐにでも起こるはずのことを、御自分の僕たちに示された」と、僕が複数形になっている点にもよく表れています。それは旧約聖書だけでなく、新約のマリヤさんが天使ガブリエルを通して「すぐにでも起こる」ことを示されましたし、ザカリアもヨセフもシメオンもそうでした。イエス様の弟子たちでも、ペトロやフィリポ、パウロやアナニア等、たくさんいるのです。そしてヨハネもそうだと。まさにこれら「僕たち」の言葉と証言によって聖書は成り立っているのです。

以上のことは、聖書をどう受け取って読むかという《聖書論》ではないでしょうか。私たち日本基督教団の『信仰告白』の書き出しがまさに「我らは信じかつ告白す。旧新約聖書は、神の霊感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。」であるように。この聖書への信仰が私たちの土台であり、結論ではないでしょうか。

世の中には、聖書を単なる物語や小説のように読む人もいます。現代の考え方やモラルに合わないと批判して平気な学者や信者もいます。神様は「霊感を送っている」のですから、書き手の表現方法や証言者の置かれている社会状況に実際には影響を受けているのでしょう。しかしこの聖書の中に神様からのメッセージが込められていることを否定することはできないのではないでしょうか。少なくとも信仰者であれば。

今日はもう一つ、創世記３章の蛇が人間を誘惑する場面を読んで頂きました。蛇の誘惑の言葉は「園のどの木からも食べてはいけない、などど神は言われたのか。」でした。まさに神様の言葉を疑わせることから誘惑は来るという意味です。愛の神様が人に命令や禁止をするはずがないではないかと。でも、それはこちら側の勝手な憶測、思い込みに過ぎません。人間の判断で神様の言葉の良し悪しを決め付けることは傲慢ではないでしょうか。アダムたちは「神のように善悪を知る者となりたい」と木の実を取って食べて行ったのでした！

黙示録はこの後、ヨハネが思わず天使を拝もうとしてしまったという過ちを記しています、当時、ギリシアやローマで流行していた天使礼拝への警鐘かもしれません。ただ、霊感を与えられこの預言を記したヨハネでも、こんな愚かな間違いを犯すことを敢えて記しているのではないでしょうか。霊感を与えられたからと言って、特別な人間ではないと。その天使はここで教えています。「わたしは、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書物の言葉を守っている人たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。」と！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.　9月　29日（水）20：00
Ⅱ.　9月　30日（木）10：30

休　会

【教勢報告】

主日礼拝	無会衆
祈祷会 Ⅰ.	休　会
祈祷会 Ⅱ.	休　会
日曜学校	休　校

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　１０月　３日（日）

聖　書：　イザヤ書　４０：９～１１
ヨハネの黙示録　２２：１０～１６

説　教：　「黙示録６８　― 見よ、私はすぐ来る」
武田 真治 牧師

讃美歌：　１７８、３２、４５１、５８０、８３(1)

【次週当番表】

司式：羽倉長老　奏楽:須田　礼拝:金刺長老
献金：森本　矢崎　　受付：松田　森本
会堂準備：浅井　阿部　金刺　齋藤
山田
看板：保坂　　週報：岩佐　　お花：森本

【次週集会予定】

・会堂管理委員会　　・長老会

６２－３９

週　報

2021年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　９月　２６日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/